



地震が起きた時・・・どうする？

自宅は耐震化していない
火災保険も入っていない
防犯カメラも付けていない



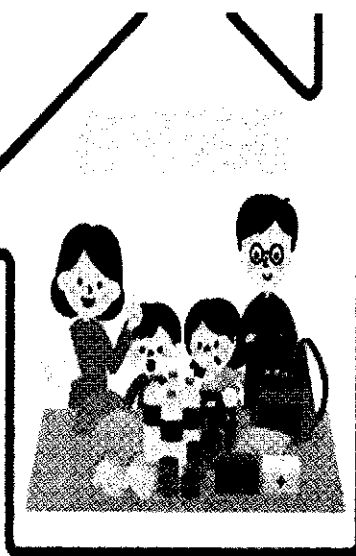
自宅で避難生活をしよう

布団で寝られて、
プライバシーも保てるから、
避難所よりも快適だね。

在宅避難の備え
詳しくは⇒



(世田谷区 HP)



自宅で安全に過ごす
ために地震による
火災に備えましょう。

阪神・淡路大震災や阪日中大震災では、火災の発生原因の
約6割が、地震の揺れに伴う電気機器からの短絡や、地震が
発生した時に発生する電気火災でした。

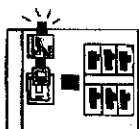


発行：上祖師谷地区町会自治会連合会

(上祖師谷自治会・祖師谷橋自治会・成城通りパークウエスト自治会・粕谷会・粕谷2丁目アパート自治会)

地震による火災防止に有効な対策

かんしん 感震 ブレーカー



地震の強い揺れを感知して電気を自動的に遮断し、電気火災を防ぎます。外出時の震災において有効な手段です。

感震ブレーカーの詳細や斡旋について詳しくは⇒



(世田谷区 HP)

消火器



消火器を設置し、使い方を予め確認しましょう。使用期限は種類によって異なります。本体を確認しておきましょう。

住宅用 火災警報器



平成 22 年 4 月から全住宅の設置が義務となっています。おおよそ 10 年が交換目安です。

消火器や住宅用火災警報器は、正しく作動できるよう定期的に交換しましょう！



地震による火災の被害想定

＜現在＞

死者数
約2,500人

焼失棟数
約12万棟

＜対策後＞

感震ブレーカーの設置や初期消火対策を確実に進めた場合

約 7 割減少

約500人
約4万棟

※「首都直下地震等による東京の被害想定」(令和4年5月)

出典：東京都防災ホームページ

グラフからも対策の効果が大きいことが分かるね！日頃の火災予防にも繋がる対策、しっかり備えましょう。



世田谷区では、区民の方を対象に消火器や住宅用火災警報器の購入、古い消火器の引き取りの斡旋を行っています。

詳しくは⇒



【問い合わせ先】上祖師谷まちづくりセンター

所在地：世田谷区上祖師谷2-7-6 電話03(3305)8611 / FAX03(5384)7196